

[035] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10235>

出版情報：語文研究. 35, 1973-08-31. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

森下純昭 北九州工業高等専門学校講師
渡辺真理子 九州大学大学院修士課程

安田博子 同

柏原卓 同

田籠博 福岡女子大学教授

井手恒雄 九州大学助手

添田建治郎 筑紫女学園短期大学非常勤講師

西丸妙子 九州大学大学院修士課程

瓜生清

正誤表(三十四号 福井論文)へ訂正済箇所を除く

頁	16	16	19	20	21	23	26	31	31
欄	上	下	上	上	下	下	上	下	下
行	13	6	4	1・9・12	20	24	19	7	21
誤	齋光	挙国	幡磨	刀帯	待り	扁執	齋信	長徳	灘波
正	齋光	挙周	播磨	帯刀	待り	偏執	斉信	長保	難波

編集後記

稀に見る酷暑をようやく乗り越えた所で、こゝに第三十五号を御届けする運びになりました。

本号は五編中の四編までが修士二年在学中の諸君の論を以てするという、甚だ清新な気運の満ちたものになりました。各論文の内容もそれに伴う清新なものであり得たかどうかはよろしく諸先輩の御批評を得たいと思います。

各大学にそれ〴〵研究雑誌や紀要が勢揃いしました今日、先輩諸氏の御論考を戴くことがなかなか困難になってきておりますが、そうしたなかで若い諸君の充実ぶりは、何はともあれ御同慶の至りと考えます。この上は益々質的な向上を図ることに精進致し度いと思ひます。

扱 研究室も第一講座の田尻英三助手が鹿児島大学教育学部へ、第二講座の福井迪子助手が鹿児島県立短大国文科へ、それ〴〵講師として本年四月より転出され、代って第一講座へ添田建治郎君、第二講座へ狩野啓子さんが助手として就任されました。従って研究室の雰囲気もや、変り、先輩諸氏の暖かな御援助を一層御願ひしなくてはなりません。何はともあれ、まづ力作、雄編を御寄せ下さることが何よりの励みで御座います。次号の原稿締切は十月末日となっております。御寄稿をお待ち致します。

(中野 記)